

事業所名	従業員規模	所在地	支援テーマ	支援回数
ビオ・ラビッツ株式会社	9人	京都府京丹後市	6次産業化を契機とした法人化支援	4回

## 相談内容・現状課題

### ■相談内容

・経営理念「オーガニック野菜を通じて自然と人をつなげて、すべての人々に幸せと元気をはぐくんでゆく」を実現するため、加工・直売・カフェ施設の建設など事業拡大を図りたいが、アドバイスがほしい。また、この機を捉えて法人化し、人材の確保、経営管理の強化を図りたい。

・加工有機JAS、HACCPの認証を取得したい。

・ホームページ等を活用した宣伝、オンラインショップについて指導がほしい。

### ■現状課題等

・オーガニック野菜の生産・販売を行ってきたが、農産加工、店舗を構えての直売、カフェ・レストランの経営、観光の要素を取り入れた農業の経験がない。

・カフェ・レストランの日常的な運営は、法人化した後、共同経営者が一定のノウハウをもっているものの、会社全体の組織像が定まっていない。

## 相談所の支援体制・伴走支援チームからの改善提案(問題解決方法)

### ■支援内容

6次産業化を契機とした法人化支援(中小企業診断士、税理士、社会保険労務士)

- ①経営診断の実施
  - ・財務諸表等、6次産業化等も含めた法人化への妥当性について経営診断を実施
- ②法人前財産等の法人移行
  - ・府単独事業・融資等による法人への移譲手続き、税制面等
- ③カフェ・レストラン部門での人材確保支援
  - ・就業規則、休業制度、社会保険の整備等の支援
- ④事業・収支計画等の作成支援
  - ・6次産業化部門も含めた法人の経営全体を俯瞰した経営・収支計画作成および課題設定を支援
- ⑤他の支援措置の活用
  - ・新設する会社の課題整理や具体的な従業員管理、資金運用など、農業法人の経営ノウハウ全般を修得してもらい経営塾の紹介
  - ・経営ノウハウの実践に向け経営全体についての支援を希望していることを確認
- ⑥他の支援機関等による支援
  - ・6次産業化部門の運営、有機JAS制度、HACCPは関係機関等に対応

## 支援の成果・その後の状況

### ■支援の成果・その後の状況

専門家の支援を受け、経営・収支計画等を策定するとともに、経営塾を受講し経営管理の基礎を修得。

令和2年4月には農場部、加工カフェ部、ワクワク未来部の3部門からなるビオ・ラビッツ株式会社を設立、同年5月にはカフェレストランをオープン予定。今後はさらなる経営改善を図ることによって、売り上げ目標1億円を目指すこととしている。



カフェレストランの外観



カフェ内の様子

### ■コーディネーター所感

本件では、経営主の経営理念がしっかりと定まっていたことで支援方針がスムーズに決まり、法人設立やカフェレストランのオープン等目に見える成果を上げることができた。

目標達成に向けては課題も広範にあるため、長期にわたる支援が必要と考える。